常磐毎日
発行所　平市田町1番地　常磐毎日新聞社　電話(代表)2104番 2105番

15日に協議会を結成

広域都市の建設を強く促進

建設省の広域都市計画、自治庁の官方都市計画、通産省の企業分散計画など、地方経済の向上を策す政府各省の計画案が相次いで発表されれの場合にも実施予定地として候補にあがっている常磐地区としては、基礎化される以前に地元のそれに対応できるだけの気運を盛りあげておく必要があると、常磐地区総合開発期成同盟会が中心となって対策を検討していたが、十五日市町村協議会を開いて広域都市建設促進協議会を結成することになった。常磐地区の場合は早くから五市合併が唱えられ、合併調査委員の選任までしているが、時期的な問題や、五市合併に対する賛否両論や、五市合併にこだわり過ぎた結果、せっかくの絶好の機会を逸するようなことがあってはならないとして、当面は中央の政策にのっとって開発の実をあげる点に重点をおき、五市それぞれの意志を尊重しながら、広域都市建設促進協議会を結成して本格的な促進運動を展開

これで文化都市に

常磐し尿処理場 全工事完成する

常磐市営し尿処理場増設工事の落成式は十日午前十時から関係者多数が出席して行なわれた。増設工事は今年六月着工、総二千五百万円を投じて行ってきたもので八百三十キロリットルの消化槽と百五十立方メートルのガスタンクが新設された。これは消化槽からでるガスは二たんガスタンクに誘導して消化槽加熱の燃料に使用するもので、市民の排出量の四十キロリットルを上回る四十三・四キロリットルが処理できる。

現在一日三十九・七キロリットルを処理している第一次計画の建設当時は一日の処理能力は二十二・六キロで十分であったが、人口増加と施肥の改良による尿利用減による処理能力が追いつかず、とくに放流水近くの水田に流された水田耕作に被害があったため、設備改善にともなう増設工事を行ってきたものである。

（写真は処理場落成式）

第三回日本美術展覧会（窓）吉田富美

経済講演会

講演会は十二日正午からいわき民報ホールで開き、政治評論家有馬修二氏の「総選挙後の政治と政界」の講演がある。

求人案内

平職安管内

12月10日現在

【男子】▽製図、左官指導員一（内郷）二五十五〇、経五年以上、一〇、〇〇〇以上▽事務員一（平）年令不問、一〇、〇〇〇以上▽集金人一（平）五五まで、七〇、〇〇〇―一三、〇〇〇▽機械製造見習二八（内郷）一七―五、経三年以上、四〇〇―四四〇〇▽旋盤工五（平）二九―一九〇、経一年以上九、〇〇〇―一〇、〇〇〇―一八、四〇〇、〇〇〇▽焼鈍工一六―三、六〇〇―七、〇〇〇▽化学処理工一〇（川崎）一八―二〇、一〇、〇〇〇―二二、〇〇〇以上▽整理係六（東京）一五―一〇、住七、一〇〇―遊技場従業員一〇（内）一八―四五、一〇、〇〇〇以上▽ボイラー工一五（川崎）一八―二五、住二二、四〇〇▽自転車組立工一四（同）一四六、四〇四（同）一〇〇％▽鋳造見習一八―二二、住二二、〇〇〇▽鍛造工一八―二二、〇〇〇▽ブラウン一五―二三、七、一〇〇―九、〇〇〇▽機械工五〇（勝田）一八―二三、六〇〇―七、〇〇〇▽木材取引員二、四六五（三九、四一五）五七―〇％▽木税取引員二、四六五（三九、四一五）五七―〇％▽木税取引員二、四六五（三九、四一五）五七―〇％▽木税